

プロトコール名 ゲムシタビン/TS-1併用療法

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ゲムシタビン(ジェムザール・GEM)	1000mg/m ²	div	30分	d1, 8
2	TS-1	60mg/m ²	P.O.		d1-14
3					

1コース期間(次コースまでの標準期間)	3週間
総コース数	効果のある限り継続
コース間での休薬の規定	白血球数2,000/mm ³ 未満又は、血小板数が70,000/mm ³ 未満

減量規定・中止基準	ゲムシタビン(2回目以降) ○投与延期し回復後2割減量 ・白血球2,000/mm ³ 未満、または血小板7万/mm ³ 未満時 ○投与延期を検討し回復後2割減量 ・*Grade3以上の血液毒性ただし血小板7万/mm ³ 未満 ・クレアチニン施設正常値上限の1.5~2倍以上 ・Grade3以上の悪心、嘔吐 ・Grade2以上の非血液学的毒性
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション グラニセトロン3mg、デカドロン8mg

患者条件(初回条件) CTCAE v.4.0

- ・PS 0~2 ・白血球 4,000~12,000 /mm³ ・好中球数 2,000/mm³以上
- ・血小板 10万/mm³以上 ・ヘモグロビン 9.5g/dL以上 ・AST、ALT 施設正常値上限の2倍以内
- ・総ビリルビン 施設正常値上限の2倍以内 ・クレアチニン施設正常値上限以内

除外規定

- 禁忌(次の患者には投与しないこと)
- ・高度な骨髄抑制のある患者
 - ・胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者
 - ・胸部への放射線療法を施行している患者
 - ・重症感染症を合併している患者
 - ・本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
 - ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
 - ・重篤な腎障害のある患者、重篤な肝障害のある患者
 - ・他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍剤を投与中の患者
 - ・フルシトシンを投与中の患者

実施上の注意点

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
- ・骨髄抑制のある患者
 - ・間質性肺炎又は肺線維症の既往歴又は合併症がある患者
 - ・肝障害(肝転移、肝炎、肝硬変等)、アルコール依存症の既往又は合併のある患者
 - ・腎障害のある患者
 - ・高齢者
 - ・心筋梗塞の既往のある患者
 - ・耐糖能異常のある患者
 - ・間質性肺炎又はその既往歴のある患者
 - ・消化管潰瘍又は出血のある患者